

# 6 月 定 例 記 者 会 見

令和2年6月23日(火)

13:00～ 第1委員会室

1 あいさつ

2 会見事項

(1) 令和元年東日本台風における災害対応の検証結果と対策について

[資料No.1]

(2) 生活路線バス運行の Google マップへの公開について

[資料No.2]

(3) 観光情報

[資料No.3]

次回の定例記者会見の予定

7月21日(火) 時間調整中 第1委員会室

<

>

# 令和元年東日本台風における災害対応の検証結果と対策について

総務部 危機管理課

## 1 趣旨

昨年10月に関東・東北地方を襲った「令和元年東日本台風」は、本市において観測史上最大となる雨量を記録し、昭和22(1947)年のカスリーン台風以来となる甚大な被害をもたらしました。

これを踏まえ、本市では今後の災害対応に備えるため、様々な角度から課題の分析、検証を進めてきました。

そこで、出水期に当たり、これまでに行った取組、及び今後行う取組を整理しましたので、ご報告するものです。

## 2 検証及び改善策の実施

足利市地域防災計画に基づく災害対策本部の班単位で課題を抽出し、検証を実施したうえで、改善策の実施時期を「短期」、「中期」、「長期」に分類し、積極的に取り組んでいます。

### 改善策の実施時期

- (1) 短期：令和2(2020)年5月まで
- (2) 中期：令和3(2021)年3月まで
- (3) 長期：令和5(2023)年3月まで

## 3 主な検証項目

別紙のとおり

## 4 今後の予定

令和3(2021)年6月 足利市地域防災計画の修正(中期課題の改善)

令和5(2023)年6月 足利市地域防災計画の修正(長期課題の改善)

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
危機管理課	課長	近藤 隆久	主幹	八代 浩守	0284-20-2247

令和元年東日本台風における災害対応の主な検証項目

課題項目		改善策	実施時期
(1)	初動体制の強化	危機管理課の体制を強化するほか、43名の職員に対し危機管理課を兼務する辞令を発令し、任命された職員がそれぞれの役割を迅速かつ適切に対応することで初動体制を充実させます。	短期
		災害対策本部の開設・運営マニュアルを策定するとともに、テレビやパソコン等の情報機器を配備し、情報を共有しやすい環境を整備します。	中期
(2)	災害の状況に応じた情報等の迅速な発信	市ホームページサーバーの増強を行い、処理能力の向上を図るとともに、市民によるツイッター等のSNSの活用を促進し、複数の情報ツールを活用した情報発信を行います。	短期～
		スマートフォンや携帯電話をお持ちでない方にも情報が届くよう、地域コミュニティを活用した地域連絡網の構築を支援します。	短期
(3)	河川等の情報伝達	河川等の管理者である国・県・市の三者で、洪水に係る情報を共有するための体制を整備するとともに、避難に係る情報を地域の皆様への確に伝達する訓練を実施します。	短期
		水門の閉鎖操作の情報を、地域の皆様に直接伝えることのできる防災装置を朝倉樋管に設置します。その他の水門に係る防災装置の設置についても、管理者である国に対し、要望していきます。	短期～
(4)	迅速な指定避難所の開設、運営	指定避難所の鍵を避難所の近くに住む市職員や地域の方が管理するほか、各公民館でも管理することとします。	短期
		指定避難所開設後、従事する職員が、避難者に対し適切に対応できるよう、避難所運営マニュアルを整備します。	中期
(5)	避難所の増設、環境改善	有事の際に、地域の皆様が緊急避難場所として利用できるよう、適切な民間施設や大学等の学校施設活用について、施設側と協議を行います。	短期～
		指定避難所で避難生活をするのが困難な方を支援するため、ケアのできる人材やバリアフリーが整った福祉施設等を福祉避難所として指定することについて検討します。	短期～
		避難所における感染症予防対策では、避難者に対し、マスク着用、手洗い、アルコール消毒や検温を徹底していくほか、避難者相互のスペースの確保に努めます。	短期
		足利市医師会等との連絡体制を構築するとともに、医療ニーズに沿った対応を的確かつ迅速に実施するため、県における現地災害医療対策本部との連携を強化します。	短期～

課題項目		改善策	実施時期
(6)	地域防災力の向上	特に被害が大きかった本市東部地区については、出水期までに暫定版ハザードマップを作成し、当該地域の各世帯に配布するほか、地域の公民館や自治会館等に掲示します。	短期
		地区合同防災訓練においては、各地域の災害リスクを考慮し、気象状況や河川水位の変化等様々な状況を想定した実践的訓練を、地元の皆様と協議の上、実施します。	中期
(7)	災害ボランティアセンターの運営支援	被災者のニーズに対して迅速に対応するため、災害ボランティアセンターと連携を密にし、相互に支援情報の共有を図り、対応にあたります。	短期
		災害ボランティア活動に必要となる機材の確保について、災害時応援協定を締結している関係団体と連携し、対応にあたります。さらに、災害ごみ等の搬出用運搬車両の燃料提供について関係機関と協議します。	中期
(8)	災害廃棄物	災害廃棄物の仮置場について、設営準備、運営ルール等の事項を整理します。	短期
		自治会が仮置場を設置した際の管理ルール、自治会内の周知方法、処理困難物の明示等の事項を整理します。	短期

## 生活路線バス運行情報の Google マップへの公開について

生活環境部 市民生活課

電話：0284-20-2186

### 1 趣旨

生活路線バスは、平成29年度からインターネットによる経路検索ができるよう経路検索事業者に情報提供を行っています。しかしながら、経路検索の際に停留所名の入力または地図上の停留所の選択が必要となるため、普段バスを利用しない方や来訪者にとっては使いづらく、利便性の向上や利用促進には繋がりにくい状況でした。

そこで、生活路線バスの利便性向上や利用促進に繋がるよう、国土交通省が定める「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」を整備し、運行情報を Google マップへ公開しましたので報告するものです。

### 2 Google マップでのデータ公開日

令和2（2020）年5月17日（日）

※足利市生活路線バス「あしバスアッシー」全8路線の運行時刻、212の停留所の位置情報、各路線の運行経路、運賃等の運行情報もすべて調べることができます。

### 3 期待される効果

(1) Google マップに運行情報を公開することで、鉄道等バス以外の交通手段、徒歩等も併せたシームレスな案内が可能となります。これにより、利用者は生活路線バスの存在を自然に認識することになり、これまで取りこぼしていた需要を取り込むことが可能になります。

(2) リアルタイム運行情報を経路検索に掲載できるため、災害時やイベント開催中の、運休、迂回等の情報を利用者に迅速かつ正確に伝えることができます。

(3) 「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」を整備したことにより、Google だけでなく、他の経路検索事業者に提供する運行情報の精度が向上します。また、経路検索以外の情報提供や交通分析等多様な活用ができるようになります。

「観光振興課（観光協会提供）」

○7月観光情報

【足利織姫神社 七夕飾り】

足利織姫神社では、短冊に願いを書いて竹笹に飾り付ける昔懐かしい「七夕短冊飾り」を毎年6月末から7月末まで行っています。

期間中、神社社務所においての「七夕守り(たなばたまもり)」授与も行われます。

日 時:6月末～7月末

場 所:足利織姫神社(西宮町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩で約30分

J R 両毛線足利駅から徒歩で約30分

北関東自動車道足利 I C から車で約10分

東北自動車道佐野藤岡 I C から車で約30分

問合せ:足利織姫神社奉賛会 ☎0284-22-0313

【足利市立美術館展覧会 「如鳩(によきゅう)と沼田居(しょうでんきよ)展」】

牧島如鳩(まきしま によきゅう)(1892-1975)と長谷川沼田居(はせがわ しょうでんきよ)(1905-1983)はともに足利出身の画家です。

如鳩は、ハリストス正教会のイコン画家(イコン=正教会でキリスト、聖母、聖人などの聖画像)として教会を荘厳するイコンを描く一方、仏画を手がけ、さらにはキリスト教と仏教の図像を混交した他に類例を見ない作品を制作しました。

沼田居は、如鳩の父閑雲(かんうん)に南画を、如鳩に西洋画を学びました。1960年ころから視力が減退し、最晩年の10年間は全盲となりますが、描くことは生きることに等しいと筆を置くことなく人生を全うしました。

如鳩と沼田居は師弟の間柄ですが、作風も性格も大きく異なります。ただ二人に共通することは人生の後半に大きな転機が訪れ、その結果驚くべき作品の数々が残されたということです。本展は、両者の作品をともに展示し、足利が生んだ類いまれな二人の足跡をたどります。

日 時:8月16日(日)まで

午前10時～午後6時(入館は午後5時30分)月曜日休館

場 所:足利市立美術館(通2丁目)

料 金:一般710(560)円、高校・大学生500(400)円、中学生以下無料

「観光振興課（観光協会提供）」

※（ ）内は20名以上の団体料金

交通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩で約10分

JR両毛線足利駅から徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICから車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから車で約40分

問合せ:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【栗田美術館特集陳列「大作で見る伊萬里染付」】

陶磁器において大皿や大鉢は、およそ口径一尺(約30センチ)以上のものを指し、大瓶や大壺は高さ40センチを超えるものとされています。今回の特集は、このような大作から伊萬里染付を鑑賞しようというものです。

染付の変遷や製作当時の流行、大作に挑む陶工の製作意欲を感じて頂ける内容となっています。

日時:8月30日(日)まで

※当面の間、時間短縮で開館しますので詳細につきましてはお問い合わせください。

午前10時～午後4時30分(最終入場は午後4時まで)

通常は午前9時30分～午後5時(最終入場は午後4時半まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

場所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円) ( )内は20名以上の団体料金

交通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩で約10分

JR両毛線足利駅から車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから約15分

問合せ:栗田美術館 ☎0284-91-1026

## 花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合があります。

### 【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、色と香りが楽しめます。

時期:5月～11月頃まで

場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

### 【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲きほこります。

時期:熱帯性スイレン(6月下旬～11月下旬)

場所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

### 【ブルーベリー】

期間は、6月上旬～8月下旬頃ですが、ブルーベリー園によって収穫期間が異なります。また摘み取り体験等につきましては事前に農園様にご確認ください。

- ・ブルーベリーファームすなが

☎0284-62-0266

- ・白髭農園

☎0284-63-0184

### 【ぶどう】

期間は、7月中旬～10月下旬頃までですが、ぶどう園やぶどうの種類によって収穫期間が異なりますのでお問い合わせください。

- ・中村ぶどう園 ☎0284-91-1230

- ・戸叶ぶどう園 ☎0284-91-0727

- ・堀越ぶどう園 ☎0284-91-0433

- ・久保ぶどう園 ☎0284-41-9055

- ・尾花ぶどう園 ☎0284-72-6790